

議 長 確認印	
------------	--

少子高齢化対策調査特別委員会会議録

1 日 時	開会 平成 27 年 11 月 27 日 10 : 00 閉会 平成 27 年 11 月 27 日 11 : 40
2 場 所	委員会室 (傍聴者 2 人)
3 出席委員	藤田高志、吉田克則、鈴木 茂、鈴木安次 (遅)、小峰由久、鈴木孝則、鈴木幸江、割貝寿一、大縄武夫、小林達信、藤田一男、藤田恵二
4 欠席委員	小貫初枝
5 出席要求者	
6 職務出席者	議長鈴木道男 議会事務局長、書記
7 説明員	
8 付議事件	第 1 委員会報告について
9 議事の経過	<p>鈴木安次副委員長開会 割貝寿一委員長あいさつ 委員長：12月議会に向け最終とりまとめを行う。皆さんの意見でより良いものを作っていきたい。なお、小貫委員から欠席の連絡があった。 委員長：報告書の要点をお配りした。事務局に説明させる。 事務局：説明する。(省略) 委員長：意見はあるか。なお、定住対策に関して資料のように企業名を出していいのか。意見を伺う。 小峰委員：周辺事業所というように濁してはどうか。 鈴木(孝)委員：1企業を限定しなくてよい。 委員長：近隣の企業というような表現にする。 小峰委員：特殊出生率とは。 (「一人の女性が一生に産む子供の数のことを合計特殊出生率という。」という人あり。) 鈴木(幸)委員：高齢になっても働き続けることができる。との表記はどうか。生きがいがあれば働かなくてもいいという人もある。また、三世同居に対する支援を盛り込んでいいのではないか。町として推進していくことは必要である。 委員長：国の方でもそのような方向になっている。進むと思う。 鈴木(幸)委員：ファミリーサポートセンターはボランティア団体ではない。利用者と支援者のコーディネートで有償で行う事業であることを認識して提言すべきである。 委員長：ボランティアではない。資料の表記は問題ないと思うが、認識である。そう確認したい。 藤田(高)委員：放課後児童クラブは埴小の空き教室を使うべきと具体的に盛り込んでもらいたい。また、町の役割はコーディネーターというがお金も重要、補助金の交付などを盛り込むべきでないか。婚活サポーターに関しては、町がもっと携わるよう、もっと掘下げて提言</p>

すべきではないか。

委員長：補助金の話があったが、町への提言としてはあまりお金のことは書くべきでないと思う。

鈴木（幸）委員：町への提言はこの4ページか。

委員長：これらをまとめていく。

鈴木（幸）委員：町のコーディネートはこれでよいと思う。学童保育はすでに町から改善案が出ているので次年度計画と書くべきではないか。

委員長：細かいところまでは入らないようにしたい。町はやるとしても、再確認しなければならない。

鈴木（茂）委員：次年度実施予定と書くべきではないか。

委員長：触れることは差支えないと思うが。

大縄委員：高齢化も問題だが、まず子育てが充実しないと人口が増えない。まず、子育て施設を先に作るべきと議会として提起していくことを望む。

委員長：町の計画に対して、前面に議会が押し出すのはどうかと思う。

大縄委員：議会としての考えは前面に出していいと思うが。

委員長：構想的なものならいいが、あまりに具体的なことは避けるべきと思うが。

大縄委員：特定はしなくても、大きくくりな表現で打ち出すべき。

鈴木（孝）委員：常豊小学校などは児童数が減って考えなければならないが、ここと限定するのは避けたほうがよいと思う。

鈴木（幸）委員：幼保一体化が具体的に出ている。今の保育園は入所条件がある。もっと緩和する必要がある。預けたい人は預けられる施設とするようなことを入れてはどうか。

大縄委員：めだか保育所は規模縮小するという。そのようなことも考えて提言したほうがよい。

鈴木（孝）委員：子供を一か所に集めて保育することは、流行病などのことの考えるとよくない。

委員長：休憩する。

委員長：再開する。

小峰委員：今県の婚活サポーターをやっている。いろいろな情報が送られてくる。県の事業なので費用は掛からないので皆さんも応募してはいかがと思う。町だけのサポーターでは限界があると思う。婚活イベントもあるがそれにでない人が問題である。

委員長：ほかにないか。

（なし）

事務局：検討する事項を記載している。これについて了承されたと考えてよいか。子育て支援の充実により、今以上に世帯分離が進むこともあるので注意が必要とのことである。

委員長：表現は訂正したほうがよいと思うが考え方はこれでよいと思っている。皆さんの意見は。

鈴木（孝）委員：すべて行政任せにしないという点では必要なこと。

鈴木（幸）委員：自助努力の上に支援があることは認識すべき。

委員長：今出されたような意味である。これを載せることは問題ないと思う。この文章だけではわかりにくい。

事務局：三世代同居についてはどのように盛り込むか。

委員長：委員意見のとおり盛り込むことにしたい。

藤田（高）委員：三世代同居に関して町が補助を出すと盛り込んでもよいと思う。

委員長：参考にしたい。

（「補助金の問題ではないのでは」という人あり。）

委員長：これでまとめることにしたいが、委員長一任でよいか。

（異議なし）

委員長：これで本日の会議を終わる。

副委員長閉会

埴町議会委員会条例の第 27 条の規定により署名する。

平成 年 月 日

少子高齢化対策調査特別委員長